



光星「初戦へ勢いを」

夏の甲子園 現地入り後初練習

6日に開幕する第105回全国高校野球選手権（兵庫県・阪神甲子園球場）に本県代表として出場する八学光星の選手たちが2日、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場で、現地到着後初の練習を行った。

選手たちは1日午前4時ごろに八戸市の寮をバスで出発し、同日午後6時半ごろ大阪府内の宿舎に入った。2日は午後4時ごろからノックや打撃などの基本練習に約2時間取り組み、「いいバツティングだー」など声をかけ合いながら、感覚を取り戻していた。練習終了後、仲井宗基監督は「今日は『声』をテーマに練習に取り組ん

だ。試合に向けて勢いをつけるいい練習ができた。と思う」と手応えを語った。

同日午前には甲子園球場を見学した選手たち。聖地の雰囲気味わった外野手の砂子田陽士（2年）は「初めてグラウン

ドにも立てて、ようやく実感が湧いてきた。今日は青森と同じくらいの気温だったので、いつも通りの練習ができた」と話した。

（棟方好華）

甲子園出場経費 CFで「支援を」

八学光星高は、八戸学院光星高校は、第105回全国高校野球選手権に出場する硬式野球部と応援隊にかかる経費の一部を、クラウドフ

アンディング（CF）で調達する取り組みを始めた。目標金額は200万円。寄付金は選手の交通費や宿泊費、応援生徒の交通費や球場入場料などに充てる。

同校によると、甲子園での1試合当たりの経費は約2千万円。

仮に決勝まで進出した場合は約1億円となり「学校関係者だけの費用負担では限界がある」と説明。CFサイト「キャンプファイヤー」を通じて支援を呼びかけている。

支援額は5千円、1万円、3万円、5万円、10万円から選択でき、支援者には金額に応じて選手からのお礼メール、メッセージ動画、記念ボール、直筆の手紙、サイン入り写真が贈られる。